

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報  
平成26年度第3四半期（平成26年10月～12月）

## 1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州，ビハール州，オディシヤ州，ジャールカンド州においては，極左武装勢カマオイストの脅威が存在しており，今期中は以下のような事案が発生した。（当地紙報道ベース）

### ○ 極左武装勢カマオイスト事件

- （1）11月3日，ジャールカンド州西部グムラ郡において，極左武装勢カインド人民解放戦線（People's Liberation Front of India:PLFI）が，民間非暴力平和隊シャンティ・セナ（ガンディーの非暴力主義を継承する団体で暴力的対立に介入し平和的解決に導く活動を実施）のメンバーが乗車した車両を襲撃し，7名が死亡した。
- （2）12月8日，ジャールカンド州東部ボカロ郡において，対マオイスト作戦に従事中の治安部隊が地雷4発を発見した。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館が所在する西ベンガル州コルカタ市は，人口の都市集中，失業者の増大，貧富差の拡大等を社会背景として，一般犯罪が増加傾向にある。殺人，強盗，強姦等の凶悪事件も多発しており，性犯罪被害は頻繁に報道されている。コルカタ市やビハール州の観光地ブッダガヤなどで，バックパッカーなどの短期邦人旅行者が列車内や駅周辺，繁華街（コルカタのニューマーケットなど），安宿街（コルカタのサダル・ストリートなど）において，スリや置き引きの被害に遭っているほか，インド人から親しげに声を掛けられ，一緒に行動するうちに親しくなり，もっともらしい話を持ちかけられ，クレジットカード詐欺など，各種詐欺被害に遭っているほか，女性に対するわいせつ目的の犯罪も発生している。当地では，スリや置き引き，詐欺のほか，女性を狙ったわいせつ目的の犯罪も多く発生しており，当地を訪れる際は，こうした犯罪に巻き込まれないよう十分注意する必要がある。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

今期中にテロ・爆弾事件の発生はないが，以下のような事案が発生した。

### ○ テロリスト情報及び爆発事件関係

- （1）10月2日，西ベンガル州バルドワン郡において，イスラム過激派テロ組織ジャマドゥウル・ムジャヒディン・バングラデシュ（Jamat-ul-Mujahideen Bangladesh : JMB）のテロリストらが誤って爆弾を爆発させ，テロリスト2名が死亡，4名が逮捕された。
- （2）10月3日，インド情報局は，テロリストがコルカタ港及びハルディア港を含む西ベンガル州沿岸部を標的として，テロ攻撃を行う可能性がある旨同州及びコルカタ市の治安関係当局に伝え，当地関係当局がテロ警戒警報を発令した。
- （3）11月10日，コルカタ市ソルトレイクの国家捜査局（NIA）事務所付近で爆発が発生。
- （4）11月27日，コルカタ市シアルダー駅を標的としたテロを敢行する旨記載されたポスターが，西ベンガル州北24パルガナス郡において発見された。

## 4 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はない。